



### 身近な生き物に触れて学ぶ

日本自然保護協会自然観察指導員の宮本勝海さん(上比木)が11月16日、自身が出版した「身近な生き物を見つめると」を市内の幼保こども園、小中学校に寄贈しました。この本は、宮本さんが調査してきた動植物についてまとめられたものです。宮本さんは「身近な環境に目を向けて、自分の暮らしとの関わりに気づいてほしい」と本に込めた思いを語りました。

◀河原崎全教育長に著書を手渡した宮本さん



### 小田吉次さん100歳の祝い

11月16日に100歳の誕生日を迎えた小田吉次さん(女岩区)に柳澤市長から祝い状や花束が贈られました。今でも毎日の運動を欠かさないと吉次さん。徒歩や自転車で買い物に出かけるといいます。また、縁側で読書することが日中の楽しみだそうです。吉次さんは「大勢の人に祝ってもらってうれしいです。頑張って長生きしたい」と話しました。

◀柳澤市長から花束を受け取る吉次さん



### トマトを医療従事者に贈る

J A遠州夢咲トマト委員会が12月2日、医療従事者への感謝の気持ちを込めて市立御前崎総合病院に夢咲トマトを贈りました。

贈られたトマトは「桃太郎」という品種で、12月1日に開かれた品評会に出品された高品質なものです。山田克巳委員長は「たくさんの人に夢咲トマトを知ってもらいたい」と話しました。

◀増田良江副院長兼看護部長にトマトを手渡す山田委員長



### 自然体験活動で郷土愛醸成

特定非営利活動法人 EarthCommunication の川口眞矢代表が12月7日、「ふじさんっこ応援大賞審査員特別賞」と「青少年団体等顕彰青少年団体の部」の受賞を柳澤市長に報告しました。

同団体の活動が、子どもの貴重な体験活動の支援や過去の参加者が指導者として携わり続ける学びの循環の形成につながっているとして評価されました。

◀「活動を通じて子どもの郷土愛を醸成したい」と話す川口代表



### 故鴨川義郎さんに叙位伝達

旧浜岡町長を3期務め、まちの発展に尽力した故鴨川義郎さん(佐倉二区)に対する叙位の伝達式が12月7日、市役所で開かれました。叙位とは、国家・公共に対して功績のあった人が亡くなった際に、生前の功績を称えて国から「位」が贈られることです。

伝達式では、柳澤市長が長女の典子さんに位記を手渡しました。

◀柳澤市長から位記を受け取る典子さん



### 浜中生と市の未来を考える

浜岡中学校の1・2年生27人と市議会文教厚生委員会が12月13日、対話による交流をしました。この交流は同委員会が、御前崎市を「住み続けたいくなるようなまち」にするため、中学生との対話を通じて得た意見を議会に反映させることを目的に企画しました。

生徒は「自然豊かなまちであってほしい」などの、市への要望を伝えていました。

◀市の将来像などを思い思いに語る生徒と市議会議員



### お茶で農林水産大臣賞獲得

茶の品質を競う品評会で農林水産大臣賞を獲得した株式会社赤堀商店と丸池製茶株式会社が12月16日、柳澤市長に結果を報告しました。株式会社赤堀商店は第56回静岡茶品評会鶴印の部、丸池製茶株式会社は第49回関東ブロック茶の共進会荒茶(深蒸し煎茶)の部で受賞。株式会社赤堀商店の赤堀浩司代表取締役は「品質の高い御前崎茶をもっと広めたい」と話しました。

◀賞を獲得した㊦株式会社赤堀商店と㊧丸池製茶株式会社



### ウクライナ支援募金を贈呈

市と市社会福祉協議会は12月16日、4月から10月末まで市内で募ったウクライナ人道支援募金293,655円を日本赤十字社に贈呈しました。寄付金は、現地などで物資や医療、暖房器具の燃料に活用されます。募金を受け取った同社静岡県支部の鈴木亨事務局長は、「皆さんの温かい気持ちが詰まった寄付金。責任をもってウクライナの人々のために活用する」と話しました。

◀寄付金を渡す柳澤市長と社会福祉協議会の繁田昇会長